

令和7年度（2025年度）熊本県立芦北高等学校 修了式

校長あいさつ

令和8年（2026年）3月23日（月）草野 貴光

周囲の山々に目を向けると緑の中に山桜が色合いを加え、春の訪れを感じさせてくれます。本年度を締めくくる修了式の日を皆さんとともに迎えることができました。有難うございます。1年間を振り返る日でもあり、昨日までの自分が今日の自分に力を与え、明日からの自分を助けられるようにつなげる日でもあります。反省ばかりしたり、気づいた課題を大きくし過ぎたりしないように、自分の良さ、頑張ったことを大切にし、自分を認め、誇りにしていきましょう。

空手道部の皆さんは、本日から長野県で開催される全国高等学校空手道選抜大会に北九州地区代表として出場しています。自分を信じて力を尽くしてほしいと思います。昨日は野球部の試合を応援させてもらいました。粘り強いいいチームになってきましたね。次に期待します。全ての頑張る生徒の皆さんを応援します。

皆さんは、目標と目的の違いについて意識していますか。まず言葉の意味について整理すると、「目標」とは、行動するに際して、そこまでは到達しよう（させよう）と決めたところ（こと）。目標を掲げるなど。「目的」とは、行動を始めるに際して、最終的な成果として期待し、その実現に向かって努力しようとする事柄。目的を果たすなど。

ミラノ・コルティナ・オリンピックで大活躍をした三浦璃来選手と木原龍一選手の「りくりゅうペア」は、フィギアスケート・ペア競技の知名度アップを目的とし、そのためにオリンピックで一番輝く金メダルを獲得することを目標とされていました。たゆまぬ努力と互いへの深い信頼により見事に達成され、私たちに大きな感動を与えてくれました。

目標は立てても目的を持っていないことがないでしょうか。決してブレない純粋な目的を持つことで、目標を達成する意義が明確化して、努力も継続できるようになります。私たちは多くの素晴らしい事例に触れています。災害で傷ついた地域の人たちを元気づけ、復旧に貢献したいとの目的で活動されている方々もおられます。私たちは素直な心でそれらの事例を受け止めていけば心の成長につながっていきます。

小さな子どもは美しい心を持ち、大人になると心は美しくなくなっていくのでしょうか。小さな時を振り返ってみると、自分の思い通りにならないことがあると大泣きしたり、親を力いっぱい叩いたりしたことが思い出されます。子ども同士でおもちゃを奪い合う時もそうで、手に入れた方は得意満面、手に入らなかった方は泣いたり、大人に訴えかけたりします。興味を持った動物や虫をこねくり回して死なせてしまう

こともあります。年齢や人と関わる経験を重ねて気持ちをコントロールしたり、力加減を覚えたりして、人を傷つけることを無くしていきます。

人は心を磨くことを何歳になっても忘れてはなりません。考えれば分かることが多くあり、世の中は学べることで溢れています。つまり心を磨き続ける機会を自分で手に入れることができるのです。人として大切なことの一つは、素晴らしい人格を持つことと一緒に考える力を持つことです。そうすれば明るい未来を切り開くことができます。大人になっても美しく正しい心を持ち続けられることを是非、覚えておいてください。

3月1日の卒業式は皆さんの協力もあり卒業生を立派に送り出すことができました。卒業生の姿は1年後、2年後の皆さんの姿です。胸を張って前向きに卒業した人がいる一方で、不安や心配を抱えながら学校生活を送り、卒業に際しても不安を持つ人もいます。自分は大丈夫かなと思う気持ちがそうさせます。しかし、皆それぞれに実際に頑張っており、成長しています。一つひとつの成長を自分自身で分かっています。皆さんは大丈夫です。

自分の得意なことや長所をとことん追求することができるのは若い時の特権です。自分の可能性を信じましょう。自分が自分の道を照らす光となります。まずは足元をしっかりと照らし、目的と目標という光に向かって進んでいきましょう。

次は、4月8日の新年度の始業式と入学式です。入学式は全員が出席をして新入生を迎えます。新3年生・2年生としての心構えと態度を備えて臨んでください。

それでは、来年度もワクワクする高校生活になるよう期待しましょう。